

中山間地域を守り、興す



なかやまベース

中山は俺達が盛り上げる！

白鷹町には、「やまがたの棚田20選」に選定されている棚田が2つある。そのうちの1つ、「中山の棚田」なかやま周辺を拠点として、地域の若者が集い地域資源を活かした取組みを行っている。

その活動組織が「なかやまベース」だ。なかやまベースは中山地区から離れていき、棚田をはじめとする田畑が荒れていくことに危機感を募らせていた組織の中心的存在である沼澤さんの「若者に中山地区にある地域資源や農地を活用して、地域に元気を取り戻し、年をとっても土地に愛着を持って生活して欲しい」という考えに賛同したメンバーが集まった。

ほとんどのメンバーが普段は町内で別の仕事に就いている非農家であることが特徴で、農業という視点に捉われず、自分達がやっていて楽しいと思える活動を行っている。

活動を始めて5年が経過した現在、なかやまベースの活動が地域に徐々に浸透しつつある。さらに、地域の上の世代の方々が活動に刺激を受け、「自分達も若者に負けずに何かさんなね！」と立ち上がり、地域の特産品である紅花の栽培面積を増やすなど活動の効果が地域全体へと広がりを見せている。

リーダーにインタビュー



沼澤 秀樹さん

Q. なかやまベースの由来は？

A. 地域資源を活用し、中山を基盤として発信していくことから命名しました。

Q. 今後の目標は？

A. 作物に名前をつけ中山のブランドを確立していくとともに、人とのつながりを大切に活動したいです。



湧水と休耕田を活用し、わさびを栽培。定植は地域の子も達と行った。収穫したわさびは軽トラック市等で販売しているほか、町内の飲食店で「わさびいなり」として提供されている。



棚田で餅米を栽培し、収穫したお米で餅つき大会を開催。作ったあんびんは地区全戸へ配布するとともに、高齢世帯へ声かけを行い、見守りも兼ねた活動としている。

鳥獣害対策



鳥獣被害対策の一環として、遊休農地を活用し有害鳥獣除けとなる、強烈で刺激的な辛さが特徴の辛富士という唐辛子の試験栽培を行っている。効果のほどは検証中。

情報発信



活動の様子や中山のイベントなど、地域の魅力を Youtube で発信。

Youtube チャンネルはこちらから→



PICK UP !!

『軽トラピアノ®in 中山の棚田』を開催！

6月1日に「中山の棚田」を舞台に軽トラピアノ（Vol.50 掲載）の撮影が行われた。今回はピンクの軽トラ（Vol.52 掲載）上での演奏となった。棚田と新緑の白鷹山をバックに演奏される「夏の思い出」「ピンクパンサー」を YouTube でぜひ聞いていただきたい。

※軽トラピアノは株式会社富岡本店の登録商標です。



YouTube
動画リンク



夏の思い出

ピンクパンサー

